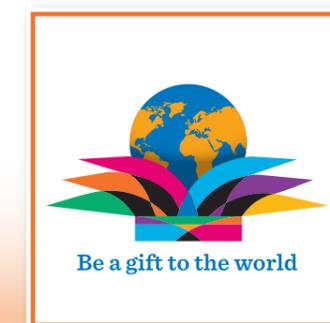


2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 9

Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com http://rid2510.org



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区
重点課題**

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●ロータリーの友月間について	2
●2017-18年度会長にイアン・ライズリー氏	3
●ガバナー公式訪問報告	4
●ななまるクラブ通信	8
●ロータリー、来し方行く末	9
●ロータリー財団への寄付と財団資金の活用状況	10
●第44回ロータリー研究会のご案内	15
●新会員の紹介/米山奨学生のご紹介	16
●2018-2019年度 ガバナーノミネー候補者推薦のお願い	17
●「第14回ロータリー全国囲碁大会」のご案内	17
●ポリオプラス委員会より/文庫通信	18
●地区カレンダー	19
●出席率・会員数	20



皆様との出会いに感謝して

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

本年度も2ヶ月が経過し、これまでに31クラブを訪問させて頂きました。それぞれ規模の違いはありますが、どのクラブも地域に密着した活動、RIの重点項目への取り組み、そして仲間とともに作りあげる素晴らしい運営をされている事に感激をしたところです。第2510地区のロータリアンは本当に凄いと改めて感じております。

また、この間公式訪問以外にも様々な行事がありました。今号の表紙にもある様に7月25日には「おたる潮まつり ねりこみ」に参加させて頂きました。小樽、小樽南、小樽銭函3クラブ合同梯団の中に入れて頂きましたが、まつり自体の迫力、そして3クラブのパワーとチームワークに改めて感動いたしました。また8月10～12日には「ロータリーキッズわくわく森の親子キャンプ」が岩見沢のスパ・イン・メープルロッジで開催されました。

震災、原発事故により、ふるさと福島を離れ、北海道に移住された親子を対象に昨年に続いたの開催です。当日は11組30名の参加を頂きました。松原実行委員長を中心としたスタッフメンバーはもとより地区内から数多くの会員にお手伝いを頂き、さらに各クラブからのご厚意もあり、大自然の中での楽しい思い出を持ち帰ってもらったものと考えています。これもロータリークラブだから出来る事業の一つでしょう。協力頂いた皆様のご厚情に感謝申し上げます。

さて、9月は基本的教育と識字率向上月間です。日本においてはこの課題はあまり身近に感じる事はないかもしれませんが、世界に目を向けると16

歳以上の人の内、7億7,500万人が読み書きできない、さらに6,700万人の子供が学校に通っていない現実があります。その中でも特に女性に対して教育機会が与えられていないという問題が大きな課題です。非識字は貧困、健康・生命として犯罪等生きていく上で大きな問題につながっています。この月間を機に皆様にも基本的教育と識字率向上について改めて意識を向けてほしいと思います。クラブとして独自に取り組む事はなかなか難しい課題ではありますが、ロータリー財団を通しての支援や、地区においても国際奉仕委員会、地区職業研修チーム(VTT)委員会から様々なメニューへのご協力をお願いしています。ご理解の程、よろしく願いいたします。また、世界的課題とは離れますが、昨今、子供達を巻き込んだ悲惨な事件が多発しています。私達は義務教育、高等教育も受け、読み書きもできるけれど何か大切なものが欠けてきているのかも知れません。別の角度から基本的教育を捉える事が必要ではないでしょうか。

また日本では9月はロータリーの友月間です。ロータリーの友には沢山の情報が満載です。二神編集長を中心に工夫をこらした誌面づくりに努力されていますし、地区代表委員として岩見沢RCの荒木会員も頑張ってくれています。「つんどく」ではなく「熟読」をお願いします。

9月とはいえ、まだまだ残暑きびしい日々が続いています。会長幹事の皆様、そして会員の皆様。ご健康に留意され、益々のご活躍を期待しております。



ロータリーの友月間について

ロータリーの友委員会

地区代表委員 **荒木敏博** (岩見沢RC)

RI理事会の決定により従来4月が雑誌月間になっておりましたが、特別月間の変更により4月は「母子の健康月間」となり、雑誌月間がなくなりました。

これを受けて3月のロータリーの友理事会で今年度から日本独自のスタイルとしまして、9月が「ロータリーの友月間」に指定されました。しかしながら、私どもの広報不足でその変更の周知徹底がされていないクラブが見受けられる事から「月信」のこの欄を使いましてご連絡いたしますので、会長・幹事様には是非、ご確認いただければと思います。

友誌はRIの地域雑誌であり、雑誌購読がロータリアンの義務になっている事をご承知の事と思います。この雑誌をクラブ例会で毎月、気になる記事の紹介をされていると思いますが、新入会員向けのレクチャー用に使用したり、奉仕活動の訪問先等への広報用として活用しているクラブも全国ではあるようですので友誌の更なる活用方法をご検討いただければ幸いです。

又、友誌掲載に3～6ヶ月掛かるかもしれませんが会員皆様方からの投稿を募集しております。詳細につきましては友誌の横組み最終ページに掲載されております。又、ガバナー事務所へもお気軽にお問い合わせください。

今後とも友誌の愛読をよろしく願いたします。

2017-18年度会長にイアン・ライズリー氏

オーストラリアの会計士で、サンドリングム・ロータリークラブに所属するイアン・ライズリー氏が、2017-18年度RI会長に選ばれました。

8月3日にRI会長指名委員会が開かれ、2017-18年度RI会長として、イアン H.S. ライズリー氏(サンドリングム・ロータリークラブ、オーストラリア)が選ばれました。対抗候補者が出なければ、10月1日をもって、ライズリー氏が正式に会長ノミネーとなります。

ライズリー氏は、「ロータリーの未来には、企業や他団体とのパートナーシップが重要」と話します。

「ロータリーがプログラムや人材を備えている一方で、外部組織はそのほかのリソースを持っています。“世界でよいこと”をするという目標は、誰にとっても同じです。ポリオ撲滅活動をきっかけに多くの人がロータリーを知り、将来に新たなパートナーシップを築けることを期待しています」

会計士であるライズリー氏は、オーストラリア国内外の企業会計を専門とするIan Riseley and Co.の社長を務め、国際関係に強い関心を寄せています。2002年には東チモールでの活動を称えられ、オーストラリア政府より「AusAID Peacebuilder Award」を受賞。2006年にはオーストラリアの地域社会への貢献が認められて、オーストラリア勲章を受けました。

「各国政府は、ロータリーを善き市民団体の代表的存在と見ています。ポリオ撲滅活動でアドボカシー活動を行ってきたように、平和と紛争解決の分野でも政府への働きかけを行うべきです」とライズリー氏は述べます。

1978年にロータリークラブに入会して以来、財務長、理事、管理委員、RI理事会執行委員、タスクフォースメンバー、各種委員会の委員と委員長、地区ガバナーを歴任しました。オーストラリアでのポリオ撲滅活動「Australian Polio Eradication Private Sector Campaign」の元メンバーであり、「ロータリー財団ポリオのない世界のための奉仕賞」を受賞しました。ジュリエット夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

RI会長指名委員会の委員は、以下の方々です(敬称略)：Ann-Britt Åsebol (スウェーデン、Falun-Kopparvågen ロータリークラブ)、John T. Blount (米国、Sebastopol ロータリークラブ)、Hee-Byung Chae (韓国、Seoul West ロータリークラブ)、Serge Gouteyron (フランス、Valenciennes-Denain aerodrome ロータリークラブ)、Frederick W. Hahn Jr. (米国、Independence ロータリークラブ)、Stuart B. Heal (ニュージーランド、Cromwell ロータリークラブ)、Paul Knyff (オランダ、Weesp [Vechtstreek-Noord] ロータリークラブ)、黒田正宏 (青森県、八戸南ロータリークラブ)、Anne L. Matthews (議長) (米国、Columbia East ロータリークラブ)、Michael D. McCullough (米国、Trenton ロータリークラブ)、David D. Morgan (ウェールズ、Porthcawl ロータリークラブ)、Gideon M. Peiper (イスラエル、Ramat Hasharon ロータリークラブ)、José Alfredo Sepúlveda (メキシコ、Pachuca Plata ロータリークラブ)、P.C. Thomas (インド、Nilgiris West ロータリークラブ)、Alceu Antimo Vezozzo (ブラジル、Curitiba ロータリークラブ)、C. Grant Wilkins (米国、Denver ロータリークラブ)



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

長沼ロータリークラブ 7月13日

7月13日(月)午後5時から長沼ロータリークラブを嵯峨ガバナーが訪問されました。ガバナーをはじめ、坂井第7グループガバナー補佐、長田地区幹事、青木地区財務委員、池田会長、望月幹事、高木ガバナー補佐エレクトが出席し、会長・幹事懇談会が開催されました。坂井ガバナー補佐進行のもと、和やかに且つ有意義な懇談会でありました。冒頭、会長よりクラブの現状報告があり、今年の地区目標は各クラブにおいて5%の会員増強であり、長沼RCとしても目標達成をお願いしたいと、ガバナーが強調されました。また、毎年国際交流フェスティバルを長沼町の支援もいただきながら、長沼高校の生徒など多数の参加の中で実施しており、これだけのイベントを毎年立派に成功させていることに、地区ガバナーとして賛辞を示されました。



会長・幹事懇談会に引き続きクラブ協議会が行われ、実に内容のある活動をしているクラブであることをあらためて認識しました、とお褒めの言葉をいただきました。これまでに長沼クラブは地区大会においてガバナー表彰を数度にわたり受賞しており、ポリオ撲滅に向けての広報・募金活動は、国際交流フェスティバルや長沼町の夏のイベント「夕やけ市」の中で積極的に実施されていることにも触れられました。最後に、2015-2016年度は一度きりですので、楽しいロータリーライフを共に過ごせるようお願いいたします、と締めくくられ、終始和やかな雰囲気の中での公式訪問となりました。

函館東ロータリークラブ 7月21日

7月21日(火)、嵯峨ガバナー、大日向直前ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事をお迎えして、公式訪問が行われました。



午前10時から宮崎会長、五十嵐会長エレクト、佐藤幹事とともに懇談会が行われ、クラブの特徴や活動状況について話されました。

午前11時からのクラブ協議会では、各委員長より活動計画の説明が行われ、各委員長との意見交換がなされました。特に嵯峨ガバナーは、My Rotaryの登録を強く話されておりました。又、国際奉仕委員会のタイバンコクの身障者への車椅子の寄贈事業に大変興味を抱かれ、お褒めの言葉をいただき、青少年委員会のローターアクト委員会への経験談やアドバイスを頂きました。

12時30分より例会が開催され、当日新会員が入会した為、嵯峨ガバナーにバッジを付けて頂き、卓話ではRIのテーマ、地区の目標、ポリオ撲滅、会員増強、財団のあり方大切さを伺いました。

最初は緊張の中から始まりましたが、ガバナーの気さくなお人柄のお陰で、気持ち穏やかに、今後のクラブ活動に向け、とても参考になる有意義な時間を過ごすことができました。

森ロータリークラブ 7月22日

7月22日(水)に嵯峨義輝ガバナー、坂本修康ガバナー補佐、山本公彦地区幹事、赤山登地区幹事が当森ロータリークラブを公式訪問されました。

午後4時より森町のグリーンピア大沼にて会長・幹事懇談会が開かれ、向宣男会長、平井克宏幹事、堀尾功会長エレクト、鈴木正幸次年度幹事の出席のもと、終始なごやかな雰囲気今後のロータ

リークラブの目差す方向(特にインターネットの活用)について討議されました。

午後5時よりクラブ協議会を平井幹事の司会の下で開会し、席上嵯峨義輝ガバナーより「奉仕活動に関しては、今後は持続・継続的に発展させてゆく方策が肝要である」というお言葉を頂きました。また、昨今会員数の減少、出席率の低下などの問題についても解決のヒントをご提示頂きました。

午後6時半からのクラブ例会は嵯峨ガバナーよりご自身のロータリークラブへの思いや地区戦略計画の重点課題についてのお話があり、嵯峨ガバナーの実直な人柄がにじみ出る卓話を頂きました。例会終了後に懇親会が開かれ、終始にこやかな雰囲気の中で午後8時半にお開きとなりました。今回は遠路ご訪問頂きまして、ありがとうございました。



函館ロータリークラブ 7月23日(木)

7月23日(木)、嵯峨ガバナー、当クラブ会員である坂本ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事において頂き、午前10時より会長・幹事懇談会を行いました。当クラブからは会長、会長エレクト、幹事に加え国立ガバナーノミニーにも参加頂き、様々な話題で盛り上がり非常に有意義な懇談会となりました。午前11時からのクラブ協議会においては、五大奉仕委員長より今年度の活動計画が報告されました。12時半からの例会においては、RIテーマ、地区目標、地区の戦略計画の重点課題について卓話を頂きました。卓話におけるクラブに対する要望として、特に「広報活動の充実」「My Rotaryの登録推進」「地区大会の出席」「米山奨学生の輩出」についてのお話を頂きました。嵯峨ガバナーのお人柄と非常に強い発信力に会員全員が引き込まれて、大変有意義な例会となりました。例会終了後にはガバナー訪問を記念し集合写真を撮影して、ガバナー公式訪問を終了致しました。



函館五稜郭ロータリークラブ 7月24日(金)

7月24日(金)、嵯峨ガバナー、大日向直前ガバナー補佐、山本、赤山両地区幹事をお迎えして10時より会長・幹事懇談会が終始和やかな中で開催されました。

その後11時からのクラブ協議会では、各委員長からの年間活動方針、活動計画を報告説明した後、嵯峨ガバナーより各委員会へ講評を頂きクラブ協議会も時より談笑が起こる中で和やかな雰囲気で行われました。

12時30分からの例会に於いては、ガバナーの役割や仕事、またポリオについて嵯峨ガバナーから講話を頂きましたが、酒井パストガバナーが例会場一番前、中央の席に座り講話をお聞きになっていたのも「とても話しづらい」とおっしゃってました。

今回の公式訪問で嵯峨ガバナーには、当クラブの雰囲気がよくわかって頂いたと思います。この明るいアットホームなクラブで今年度も五大奉仕に邁進したいと思います。

最後になりますが、今後の公式訪問が無事に終了することを祈っております。ありがとうございました。



千歳北ロータークラブ

7月28日

本年度14箇所目の公式訪問と云うことで、嵯峨義輝ガバナーに地区幹事として、西方洋昭氏と斎藤聡氏の3名で当クラブに公式訪問していただきました。

例年のごとく、1回目(10:00～)の懇談会は、会長・会長エレクト・ガバナー補佐および幹事の4名をまじえて坂井ガバナー補佐の司会・進行で始まり、クラブ活動・奉仕活動を映像で視ていただきました。緊張をほぐそうとガバナーの心遣いがひしひしと感じられました。

2回目(11:00～)は当クラブの理事達を交えての懇談会と進み、当クラブ創立25周年記念例会の話題・IMの開催実施計画の進捗状況などを報告いたしました。そして、全会員を交えて昼食を挟んでのガバナー公式訪問例会へととなりました。創立から25年、近々では東日本大震災直後から彼の地への支援事業をその年度その年度の活動計画で違いはあれど、浄財の寄付・現地への人員の派遣、千年希望の丘植樹事業と脈々と継続事業は続いています。また、空港立地地域を生かしての空港募金箱を設置し、その浄財を教育・福祉事業に活用していることを報告しました。ガバナーからは、当会で実施している新入会員(入会3-5年未満)の勉強会・読み終えた「ロータリーの友」の地域事業所への設置などに良い評価をいただき、会員のMy Rotaryへの積極的な登録そして、現会長-会長エレクト-会長ノミネーへののしっかりとした活動方向の確認などのご意見をいただきました。



苦小牧北ロータークラブ

7月28日

■クラブ会長・幹事懇談会

山本会長より今年度の会長方針として、会員増強、石巻ロータリーとの友好、苦小牧カウンセリング協会(RCC)、米山梅吉記念館訪問事業についてなどが話されました。

また、山本会長より職業奉仕について最近の国際ロータリーの考えについて質問があり、嵯峨ガバナーより国際ロータリーでは、ロータリアンの行動規範の第5項目が削除されて、人道奉仕へ軸足が移りつつある。しかし職業奉仕は大事にすべき事なので、クラブの独自性を発揮して取り組んで貰いたい旨のお話がありました。



■クラブ協議会

各委員長より、今年度の活動計画の説明がありました。また米山記念奨学委員会の高橋委員長より、米山奨学生に日本人を選ぶことは出来ないかとの質問がありました。

嵯峨ガバナーより米山記念奨学会は日本に来る優秀な外国人学生を支援する公益財団法人として認可されているためできないが、クラブ独自で奨学制度を設ける事も可能である。また、研修委員会があるクラブは少ないので、大いに活かして欲しいとのお話がありました。

■例会

嵯峨ガバナーより卓話をして頂きました。

1988年ポリオ(小児麻痺)を無くそうとロータリーが声を上げ、WHO、ユニセフ等と協力して128ヵ国で蔓延していたポリオを、現在ナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンの3ヵ国にまで減らすことができました。ユニセフのデータとしてロータリーの活動により現在までに1300万人の子供がポリオに罹らなかったとの事です。ロータリーは世界の子供たちにポリオの無い世界をプレゼントするという素晴らしい活動をしてきました。

留萌ロータリークラブ**8月5日**

嵯峨ガバナー、高田ガバナー補佐、
西方地区幹事、江本地区幹事補佐
をお迎えして、留萌産業会館で開催



致しました。午前10時から会長・幹事懇談会を行い、会長からクラブの現況や活動計画、地区財団補助金申請事業の結果報告をしました。又、留萌ロータリークラブの社会奉仕事業の、るもい呑涛まつりのあんどんパレードでポリオ撲滅のPR活動についての説明と映像を観て頂きました。今年のクラブ会長テーマで

あります Reform of the Rotary ロータリーの改革についての説明を致しました。このテーマに込められた会長のメッセージは、何も180度改革するものではなく、現代に合ったクラブ運営と次世代への善き奉仕事業の継承、そして何より、会員減少や経済の衰退により、クラブ会員のモチベーションの低下がみられる今、会員誰もが入会当時抱いていた奉仕の理想を思い出し、原点に意識を戻すという改革をしたいと考えていることをガバナーに伝えました。ガバナーからは、My Rotaryの登録の推進とクラブセントラルの登録、クラブの長期戦略について質疑を受けました。留萌クラブとして1日も早い対応をしたいと伝えて会長・幹事懇談会を終了致しました。

午前11時からクラブ協議会を開催しました。各委員会の委員長より活動方針と活動計画を発表してもらい、ガバナーに総評を頂きました。

午後12時15分から例会を開催致しました。例会の中でこの日に入会された新会員2名の入会式を行い、嵯峨ガバナーから直接バッジをつけて頂きました。

高田ガバナー補佐から嵯峨ガバナーの略歴を紹介して頂いたあとに、ガバナーから卓話を頂き、RIテーマ「世界のプレゼントになろう」についての説明や地区の重点目標などについて説明されて、ガバナーを囲んで記念撮影をして例会を終了致しました。

翌日にガバナーは羽幌ロータリークラブの公式訪問を控え、この日は留萌に宿泊致しますのでプチ観光をして、午後6時30分から嵯峨ガバナー歓迎会を開き、留萌クラブメンバーとの交流を深め、2次会でのカラオケ大会で大いに盛り上がり、嵯峨ガバナーが健康で70クラブを無事に訪問できますことを願ってガバナー公式訪問を終了しました。このガバナー公式訪問で会員がそれぞれの担当の役割をしっかりと果たし、最高の公式訪問でした。

羽幌ロータリークラブ**8月6日**

会長・幹事懇談会は、高田潔第1Gガバナー補佐の司会進行ではじまり、弊クラブ
地島耕二会長より今年度会長テ
マ、クラブの現況等について説明が



なされました。

その中で、地島会長の「会員各自の職業・家庭環境の充実有ってのロータリークラブ」との言葉にはガバナーの同意を頂き、又、会員数が大幅な減少無く維持されている事に注目して居られました。

クラブ協議会では、各委員会より本年度活動計画について説明し、会員増強とその維持、社会奉仕委員会の新事業「離島清掃ボランティア」、親睦活動の内容等に対し評価を頂きました。

クラブ例会中の嵯峨ガバナーの講話では、地島会長のロータリーへの考え・会員維持率に関して再度評価を頂き、本年度RI会長のポリオにまつわるエピソードを通じ、ポリオ撲滅の意義・成果について、ロータリアンであった松下幸之助氏の姿勢を例に挙げ、「ロータリーライフ」に対するガバナーのお考えをお話頂きました。

最後に、ガバナーより総評を頂戴して、今年度羽幌RCガバナー公式訪問例会は無事閉幕を迎えました。

江差ロータリークラブ**8月18日**

8月18日(火) 嵯峨ガバナー、大日向ガバナー補佐代理、赤山地区幹事、山本地区幹事をお迎えしました。

前川会長より少数ながら意識を高く持ち、重点目標の会員増強と新会員のフォローアップ、また職業奉仕活動として「匠の表彰」、地区補助金を活用しての「ロータリーの森」への植樹の継続等活動について報告致しました。活動計画の発表の後、ガバナーより「4つ地区目標」、クラブセントラルへの登録、「ロータリーの森」の充実を中心に戦略計画を設け江差RCの特色を生かすこと、またEクラブの効果的な活用についてご指導頂きました。ロータリーは多様性を認めている、小規模でも特色あるクラブであることが重要であると激励頂きました。RI会長が掲げている「世界へのプレゼントになろう」というテーマにお話が及び、限りある人生をどう過ごすか、自らがプレゼントになろう!との力強いお言葉を頂きました。出来る事をやり続けることで創立以来54年の歴史をさらに刻み続け充実躍進して参ります。

**七飯ロータリークラブ****8月18日**

8月18日(火) 嵯峨ガバナー、坂本ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

午後4時より会長、幹事、会長エレクト出席による懇談会が行われ、当クラブの若手会員の育成方針、出席率の現状等報告させて頂きました。

午後5時よりクラブ協議会にて、各委員長、副委員長より今年度方針を発表致しました。当クラブの出席向上委員会が、例会出席で「信頼できる友達を作ろう」の方針、クラブ会報委員会の報告で、全会員に「会報をファックス送信」を実施していることについて、ガバナーより好評を頂きました。

午後6時30分より例会を開催し、午後7時30分終了となりました。

ガバナーより会員退会防止の「火の用心」対策、「新入会員のセミナー研修」計画、「職業奉仕」についてのお話しは大変参考になりました。総時間数は3時間30分ですが、大変有意義な時間となり、時間が不足にさえ思える公式訪問となりました。

今年度も当クラブとして、一步でも前進し、活力のある年度となるように努力致します。

**ななまるクラブ通信**

このコーナーでは各グループ・クラブの皆様からの投稿を掲載させて頂きます。

長万部ロータリークラブ

2015年7月28日(火)、第2580地区東京葛飾中央RCと第2510地区長万部RCと友好クラブの締結を行いました。

両クラブ共近隣に東京理科大学があり長万部町「町花あやめ」と葛飾区の花菖蒲があり英語で表すと共に「Iris」と同じです。例会場も葛飾柴又にあります。「男はつらいよ」の映画15作に長万部町が出ており又、漫画「こち亀」にも出ております。その様な事が縁で結ぶ事にしました。

写真は東京葛飾中央RCに表敬訪問しバナー交換した時です。向かって左側が東京葛飾中央RCの石川会長です。



ロータリー、 来し方行く末

連載 第3回

ロータリー精神・ Fire-Side Meetingで学ぶ



国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹
(札幌東RC)

ロータリー精神という言葉はよく耳にします。たとえば、「ロータリー精神を伝える」、「ロータリー精神とはロータリーの真髄」、「新会員にロータリー精神を伝えよう」などよく言われます。

しかしロータリー精神とは何かという具体的で、判りやすい説明にはなかなか出会いません。これを説明するのはたやすいようでもあり、また難しいようでもあり、結局腹の底から会得するには、ロータリーの経験のある程度必要とします。ただ言葉で簡単に表現すれば、一人一人が他人の立場に立って、ものごとを考え、他人のお役にたつような行動をしようということです。英語では他人の立場に立つことを“in their shoes”といいます。その人の靴を履いてみないと、その人の気持ちはわからないという意味でしょう。

「情けは人のためならず」といいますが、結局はそれが幸せになる道である。---こういう思想がロータリーの精神であり、ロータリーの奉仕というのはそこから出てくる行為であります。

そしてロータリーという組織は、そういう精神を高め、そういう奉仕の道に熱意を燃やす人を育てようとする学校なのです。ところがこの学校には入学があっても卒業ということはありません。そこがまたこの学校の素晴らしいところで、ロータリーを学ぶに連れて楽しくなり、ロータリーの道の無限であることを知ります。生涯学習を目指す人生の学校には卒業はありません。

学校ですから、ルールがあるのは当然です。とにかくクラブへ出席することが第一です。授業料もかかります。この様なロータリーの基本ルールは、1915年のRI元会長、シカゴクラブのガイ・ガンディカーが『ロータリー通解』A Talking knowledge of Rotary の中に、「ロータリアンの義務」として著わしました。

その義務とは、①例会出席。 ②遅滞なく会費を払うこと。 ③求められた時自分の役割を果たすことなどです。ロータリークラブのクラブたるゆえんは毎週開かれる「定例会」と呼ばれる会合にあり、会員としての資格を維持するために必要な最低限の条件が、会費の納入と例会出席なのです。

また我々はロータリーの役職を委嘱されたときによく、「ロータリーにノー (No) はない」という言葉を耳にします。この言葉は、③の求められた時自分の役割を果たすこと。To do your part, when ask for. から引用された言葉です。

特に新会員の方々には、クラブの委員会の何かの役を積極的に務めてもらうこと、これこそロータリー会得の最短距離ですし、退会防止にもつながります。

以前はどこのクラブでも、ファイヤーサイド・ミーティング. Fire-Side Meeting 通称「炉辺会合」とも言われた「座談会」「情報集会」が新会員を交えて盛んに行われていました。これらは新会員にとっては、ロータリー精神を先輩会員から学び、ロータリーに親しむ格好の道場でした。そこに同志としての連帯感が生まれ退会者を減らすことができました。カラオケ集会も結構ですが、「ロータリー塾」としてのファイヤーサイド・ミーティングもお勧めします。

ロータリー財団への寄付と財団資金の活用状況

地区ロータリー財団委員会
委員長 **遠藤 秀雄**
(登別RC・PG)

地区財団補助金委員会
委員長 **齋藤 康嗣**
(札幌真駒内RC)

地区財団資金推進委員会
委員長 **坂下 賢二**
(函館セントラルRC)

ロータリー財団は2年後(2017年)に100周年を迎えることとなります。それに向けて奉仕活動分野において、財団が時代にあった存在であり続けるために改革をすすめてまいりました。

2013-2014年度から始まりました「未来の夢計画」は実施して3年目になります。

本委員会は、各クラブの皆様へクラブ奉仕プログラムを計画立案する支援資料として財団への寄付状況、地区に還元された補助金の状況を報告し、財団活動にご理解を頂き、各種奉仕活動を実践して頂き、クラブの活性化に寄与頂ければ幸いです。

1. 財団への寄付状況

財団への寄付は、①年次基金寄付 ②恒久基金寄付 ③使途指定寄付があります。
当地区の数年の実績を[表1]に示します。

表1 財団への寄付(2510地区)

(単位:米ドル)

	2011-2012年度	2012-2013年度	2013-2014年度
年次基金寄付	304,997.00	296,997.00	310,574.88
恒久基金寄付	4,000.00	6,000.00	2,000.00
使途指定寄付	45,155.07	57,406.06	6,278.43
合計	354,152.07	359,861.71	318,853.31

年次寄付はこの数年会員減少の影響により、減少傾向でしたが、2014-2015年度は皆様のご協力により、「ポール・ハリス・ソサエティ」の申し込みが40名を超え、又「メジャー・ドナー」等への寄付をいただき、623,936.87米ドルを達成いたしました。

ご寄付された方々に深く感謝申し上げますとともに、今後とも財団へのご寄付にご理解とご協力をお願いする次第です。

2. 地区財団活動資金の活用

財団に寄せられた寄付金は、災害救援やポリオプラス等を除いて、直ちに使用せずに3年間運用されます。3年後、年次基金寄付と恒久基金寄付の運用収益は、地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に均分されます。地区財団活動資金(DDF)は地区補助金(DG)とグローバル補助金(GG)に按分されます。[表2]に財団から通知を受けた地区財団活動資金の残高状況を示します。

地区においては、この地区補助金は、地域社会奉仕活動(クラブ社会奉仕活動プロジェクト)、奨学金、国際奉仕活動、災害復興支援活動に活用しております。

2014-2015年度の財団からの地区補助金の申請限度額は、2011-2012年度の寄付額から「78,556ドル」(1ドル102円換算)で約785万です。2015-2016年度の地区補助金は2013-2014年度の寄付額から「76,540ドル」(1ドル118円換算)で900万円として、奉仕分野の配分を行いました。

[表3]に奉仕分野別の金額を示します。

表2 DDFの残高表(2014-2015年度)

(単位:米ドル)

概 要	収 入	支 出	残 高
2011-2012年次寄付より繰入	152,548.52		152,548.52
恒久寄付運用益より繰入	4,852.85		157,401.37
前年度DDF残高より繰入	140,898.14		298,299.51
地区補助金(50%)確定(DG)		73,910.00	224,389.51
ポリオプラスへ寄付(1)20%		31,500.00	192,889.51
ポリオプラスへ寄付(2)		10,000.00	182,889.51
DG前年度戻り		960.20	183,849.71
救命装置等医療機器タイ北部GG		20,000.00	163,849.71
貧困地区職業訓練支援事業タイ北部GG		38,925.00	124,924.71 (次年度残高)

尚2014-2015年度奨学金GG(20,000.00ドル)は2015-2016年度分となります。

表3 地区補助金の奉仕分野別内訳

(単位:万円)

摘 要	2014-2015年度	2015-2016年度
地区社会奉仕活動(クラブ社会奉仕活動プロジェクト)	355	445
国際奉仕活動	120	130
奨学金	160	160
災害復興支援活動	100	120
RYLA活動	10	30
その他	5	15
合 計	750	900

2014-2015年度報告と2015-2016年度の計画

(1) 地域社会奉仕活動(クラブ社会奉仕活動プロジェクト)への配分

各クラブからの補助金申請と配分は

年 度	申請数	申請額	採用数	補助金決定額
2014-2015年度	20	490.6(万円)	20	354.4(万円)
2015-2016年度	31	972.3(万円)	31	444.2(万円)

2014-2015年度はロータリー財団に活動終了を報告済みです。

2015-2016年度は前年度より11クラブ申請が多く、各クラブ地域密着がたの奉仕活動への熱意を大きく感じるところです。多くの奉仕活動を行うには皆様の寄付金が基礎になります。

財団へのご寄付をよろしくお願い申し上げます。各クラブ社会奉仕活動プロジェクトの詳細は[表4][表5]に示します。

(2) 国際奉仕活動への配分

2014-2015年度の国際奉仕活動は、「第3340地区ノンカイ教育支援事業」活動に120万円を配分しました。両親がいなく孤児になった子供達に職業訓練をする目的です。

ローヤルキングスクールにおいて、洋裁、料理等の職業訓練をサポートするため、機材や材料を提供しました。本補助金で書籍、戸棚、DVD等の教材、机、椅子等を寄贈しました。

2015-2016年度の国際奉仕活動は「タイでのノンカイ地区の教育向上」活動へ130万円を配分しました。プロジェクト内容は、両親がいなく貧しい生活をしている子供を対象に、タイ語等の言語や技術の習得させるための教材提供とウイークエンドスクールを実施し仕事に就かせる。

(3) 奨学金への配分

短期3ヶ月、6ヶ月の海外留学生に奨学金を支給いたしました。

奨学金を支給した内容は次の通りです。

2014-2015年度奨学金支給状況(160万円)

氏名	提案クラブ	派遣先	修学内容	期間
久保まりな	札幌大通公園	インド	ヒンダイ語を学び地域社会を習得する	3ヶ月
安達 美穂	札幌幌南	イタリア	イタリア語の語学レベル向上のため	6ヶ月

2015-2016年度奨学金支給状況(160万円)

氏名	提案クラブ	派遣先	修学内容	期間
石田 咲子	札幌幌南	イタリア	農業体験、歴史、伝統文化を研修し地域社会について学習する。	3ヶ月 60万円
四宮 皓子	札幌東	アメリカ	絵本作家として、アートを通じて地域社会において、芸術分野での交流と地域貢献をし、地域の文化を学習する。	6ヶ月 100万円

(4) 災害復興支援活動への配分

地区奉仕プロジェクト委員会を中心に、震災により北海道に避難している1500世帯の家族へ、精神的ケアと地域のコミュニティーの繋がりを深くするため、夏休み期間に親子をキャンプに招待して、明日への活力にしていきたいとの思いから、「ロータリーキッズわくわく森の親子キャンプ」を行う。

2014-2015年度(100万円)

期間：2014年7月30日～8月1日

場所：岩見沢市毛陽町メープルロッジ

参加者：100世帯の親子に案内をし60名が参加した。

実施内容：北海道の大自然の体験、地元の農産物の試食等を行った。

ロータリアンの参加者：50名

2015-2016年度(120万円)

期間：2015年8月10日～12日

場所：岩見沢市毛陽町メープルロッジ

(5) ポリオプラス基金への寄付

2014-2015年度はポリオプラスにロータリー財団からの指示分2011-2012年次寄付DDFの20%(31,500米ドル)と地区のDDF残高から10,000米ドルを寄付いたしました。

2015-2016年度はロータリー財団からの指示分2012-2013年次寄付DDFの20%の寄付は決定しております。

ポリオ撲滅までもう一步の所まできておりますので、会員皆様のご支援とご協力をお願いする次第です。

3. グローバル補助金の活用

2014-2015年度において、グローバル補助金の活用は国際奉仕委員会、職業研修チーム委員会(VTT)、奨学金委員会の努力により3プロジェクトの提案があり、ロータリー財団の承認を得て活動を行いました。

(1) 国際奉仕委員会

救命装置等医療機器をタイ北部に寄贈(20,000米ドル)

(2) 職業研修チーム委員会(VTT)

貧困地区職業訓練支援事業タイ北部への支援(38,925米ドル)

(3) 奨学金委員会

1年以上の長期海外留学生の派遣(20,000米ドル)

4. 最後に

新しい補助金システムは3年目にはいり、地区および各クラブの皆さまのご協力ご支援により補助金が地域の社会奉仕活動に有効活用されております。

2015-2016年度の各クラブからの申請は終了いたしました。補助金は2年区切り（準備・補助金申請（前年度）—プロジェクト実施（今年度）—補助金報告（今年度））で業務を行います。したがって2016-2017年度の補助金申請は2015年中に地区社会奉仕活動計画を立案し、2016年の4月末まで申請書を作成し提出しなければなりません。

2016-2017年度のロータリー財団の補助金申請限度額は77,418米ドル（約910万円）です。

ロータリー財団は、国際ロータリーのために活動する財団です。またクラブでの各種奉仕活動を支援する組織でもあります。

地区財団グループとしては、クラブからのご提起や、地域ニーズを勘案した会員の真摯な奉仕活動をお手伝いすべく全力を尽くして参りますので、今後ともよろしくご依頼申し上げます。

表4 2014-2105年度 クラブ社会奉仕活動プロジェクト

クラブ名	申請金額	決定額	内 容
1 深 川	145,000	80,000	「冒険遊び場」での児童との触れ合い交流（遊び）の実施 プレーパーク 2013年度からの継続
2 羽 幌	200,000	130,000	公共の場所（ピオトップ公園）での環境植樹と整備事業 2013年度からの継続
3 留 萌	231,120	180,000	海水浴場の清掃活動とコスモスの植花と生育（環境保全） （耕具等をレンタルに変更）
4 岩見沢	299,880	224,200	児童養護施設へのキャンパテント8張の寄贈
5 札幌北	399,600	160,000	児童養護施設育児の野外体験学習と絵画コンクールの実施
6 札幌西	300,000	210,000	乳癌の検診・啓発活動の現状認識と支援活動の実施（チラシ） （のぼり、旗寄贈に変更）
7 札幌東	300,000	210,000	母子家庭の家族と交流事業（川祭り参加等）
8 札幌南	195,000	140,000	ひとり親クリスマスふれあい会の企画運営—2013継続プロジェクト
9 倶知安	300,000	210,000	札幌楽団の招致、ジュニアへの音楽教室とコンサートの実施 （障害者施設の子供を対象に考慮）
10 小 樽	220,000	160,000	小樽、千年の森植樹
11 千 歳 セントラル	300,000	210,000	震災地・岩沼市での地元生産野菜の購入・販売による支援 （岩沼市に植樹の木を寄贈）
12 伊 達	200,000	110,000	地域環境保全活動（清掃、長流川）と野鳥カードの作成・配付
13 室 蘭	150,000	150,000	公共の場所（新設中学校）での環境植樹
14 室蘭東	255,900	210,000	知的障害者への農業体験事業（畑の手入れ、植え付け、収穫）
15 函 館	323,000	300,000	聾学校への出前授業の実施（FMシステムの活用）
16 函館亀田	250,500	140,000	会員職場への中学生の受け入れ授業の実施（会社実習研修）
17 長万部	181,440	180,000	災害指定場所（保育園）への折たたみ避難車の寄贈
18 函 館 セントラル	300,000	210,000	あんじゅう七重浜 歩行器の寄贈
19 函館東	284,900	260,000	身障者への車椅子の寄贈（バンコック及び周辺地域）
20 白 老	70,000	70,000	地域公共の場所（グループホーム、老健施設）での植樹
合 計	4,906,340	3,544,200	

表5 2015-2016年度 クラブ社会奉仕活動プロジェクト

クラブ名	申請金額	決定額	内 容
1 羽 幌	295,800	147,900	公共場所、ピオトープ公園に植樹活動
2 留 萌	285,000	120,000	留萌の特別支援学級の子供達に文化学習の支援を行う
3 滝 川	300,000	170,000	そらぶち支援特別事業で 移動式組立スロープ寄贈
4 岩見沢	460,744	253,440	3ロータリークラブで「福祉村」に簡易テントを寄贈(栗沢、岩見沢、岩見沢東)
5 札幌北	450,000	300,000	精神障害者がパンを製造するさいの、材料保存用冷蔵庫の寄贈
6 札幌モーニング	160,768	120,000	小学校、保育園に苗木を寄贈して、植樹する。
7 札幌西	300,000	187,000	ピンクリボン(乳癌啓発活動)活動(パンフ等作成)継続
8 札幌手稲	300,000	130,000	母子生活支援施設の子供に、芋ほり、食事会、音楽鑑賞の支援
9 札幌東	350,000	200,000	母子家庭の家族と交流事業(川祭り参加等) 継続
10 札幌南	225,000	150,000	ひとり親クリスマスふれあい会の企画運営 継続
11 新札幌	298,000	119,200	児童養護施設にテレビ、BDレコーダを寄贈
12 小 樽	250,000	155,000	小樽「千年の森」の植樹 継続
13 小樽南	526,000	110,000	小樽青少年国際交流会議への支援(パンフレット、ポスター作成等)
14 千 歳	370,000	138,840	市民の憩いの空間に桜の木を植樹
15 恵 庭	389,458	100,000	市民憩いの場に植樹をする
16 静 内	302,400	202,900	スポーツ少年団ヘテントを寄贈
17 室 蘭	154,077	100,000	室蘭工業大学と共同でベンチと花壇を寄贈し、花と木を植樹する
18 登 別	88,020	88,020	登別市老人福祉センターに「登別市民憲章の壁盾」を寄贈
19 洞爺湖	200,000	50,000	青少年に文化活動支援 小中学校に図書を寄贈
20 函館亀田	293,380	100,000	函館市内中学生に職場体験並びに発表会施設を借りる 2014-2015年度と違う中学校対象
21 森	372,400	150,000	在宅で介護をされている方を施設に招いて、資格を持つクラブ会員による教育を行う
22 七 飯	140,000	100,000	七飯町に身体障害者、老人、子供達用ベンチを寄贈
23 長万部	291,600	100,000	長万部町多目的センター「あつまんべ」に身体障害者老人、子供達用ベンチを寄贈
24 函館セントラル	300,000	200,000	老人施設「あんじゅう七重浜」にベットサイドテーブルを寄贈
25 江 差	150,000	75,000	馬場山町民の森に栗、梅の植樹
26 函館五稜郭	1,026,080	280,000	ドクターヘリー用のフライトスーツを管理組合に寄贈(ロータリーマーク、クラブ名入り)
27 函館東	499,500	250,000	身体障害者へ車椅子の寄贈(バンコック周辺地域)
28 白 老	110,000	50,000	しらおいキッズキャンプと称して、小学3年生以上を招待し、職業の体験等をする
29 苫小牧東	600,000	80,000	西太平洋マイクロネシアの恵まれない人々にクリスマス用品を寄贈(学用品等)
30 札幌幌南	135,429	135,429	小学校特別支援学級に対する運動及び音楽教材の寄贈
31 深 川	100,000	80,000	公園に手作りの遊具を設置し、子供達に自由な遊び場の提供を支援する
合 計	9,723,656	4,442,729	

2015-2016年度 地区財団補助金クラブ奉仕予算 4,500,000円

第44回 ロータリー研究会のご案内

ガバナー補佐・元ガバナー補佐・将来のロータリーシニアリーダーの皆様へ

今年度ロータリー研究会は12月2日から12月4日まで東京にて開催いたします。このロータリー研究会は世界中で各ゾーンを中心に開催されシニアロータリアンが結集して国際ロータリーの現状、方針などを学び、交流する最大の行事です。

各地区からあまねくシニアロータリアンが参加され、研究会の大きな果実を持ち帰っていただきたいと存じます。中でもこれからの地区を支える将来のシニアロータリアンのご参加を強く願っております。そのために該当者の登録料を優遇いたしております。各地区のガバナー補佐、元ガバナー補佐を始め、地区の将来を担う方々のご参加をお待ちしております。

会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA
〒135-8701 東京都港区台場2-6-1 <http://www.grandpacific.jp>

12月 **2** 水曜日

16:00～18:00 登 録
18:00～20:30 RI会長ご夫妻・TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会

12月 **3** 木曜日

1日目

8:00～ 9:00 登 録
9:00～10:20 開会セレモニー
10:20～10:40 休 憩（コーヒープレイク）
10:40～12:30 各種報告
12:30～13:30 昼 食
13:30～14:00 基調講演『世界へのプレゼントになろう』 RI会長 K.R. ラビンドラン
14:00～14:10 ロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）
14:10～15:40 第1セッション「日本のロータリー100周年に向けて」
15:40～15:50 休 憩（ショートブレイク）
15:50～16:00 ロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）
16:00～17:20 第2セッション『未来への懸け橋』
17:20～17:30 諸事お知らせ
～ 移 動 ～
18:30～20:00 希望晩餐会

12月 **4** 金曜日

2日目

9:00～ 9:10 ロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）
9:10～10:30 第3セッション『財団補助金の実践報告』
10:30～10:50 休 憩（コーヒープレイク）
10:50～11:00 ロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）
11:00～12:00 第4セッション『34地区の実践報告』
12:00～13:00 昼 食
13:00～14:00 記念講演「世界の中の日本」
熊本県立大学理事長 五百旗頭 真 氏（元防衛大学学校校長）
14:00～14:40 オープンフォーラム
14:40～15:00 閉会セレモニー
15:00 点 鐘

登録料 ガバナー補佐（現・元）並びに将来のロータリーシニアリーダー 15,000円
◎歓迎晩餐会並びに希望晩餐会は、ロータリー研究会に「登録をされた方」のみ参加できます。

ご出席を希望される方は、ガバナー事務所までご連絡ください。

クラブ事務所・住所等変更のお知らせ

小樽南ロータリークラブ

小樽南ロータリークラブ事務所が、下記に変更となりましたので宜しくお願ひ申し上げます。

〒047-0032 小樽市稲穂2丁目3-9 坂口光栄堂内
電話：0134-26-6435 FAX：0134-26-6935

新会員の紹介 (敬称略)



砂川RC
山田 大
7月1日入会
コンクリート製品製造



恵庭RC
越田 哲郎
7月5日入会
自動車販売業



恵庭RC
小野田正和
7月5日入会
クリーニング業



伊達RC
栗橋 徳一
7月28日入会
税理士



岩見沢RC
海老原 恒
7月30日入会
損害保険業



札幌北RC
加藤 聡志
8月3日入会
建築機械器具賃貸



札幌北RC
三澤 繁実
8月3日入会
一般建築工事

～米山奨学生のご紹介～

ロータリーとのつながり

ウォンジェンシェン
(室蘭東RC)



マレーシアから参りましたウォンジェンシェンです。

現在、室蘭工業大学工学部機械航空創造系学科機械システム設計学研究室で卒業研究を取組んでおります。長いようで短く、私は来日から4年目に入りました。

マレーシアから日本に留学しにきて、一人暮らし生活からはじめ、日々成長するために頑張っております。家族と会えるのは年1回の郷帰だけですから、寂しくないと言ったら確実に嘘ですね(笑)。

ですけれども、ロータリアンの一員になり、お世話になっているクラブ(室蘭東RC)だけでなく、区内の他クラブにて例会・イベントに参加させていただき、短時間(1時間)でも、両親みたいなカウンセラーの松永さんとももちろん、クラブの会員さんとも、楽しかった事や困った事などを話すことができ、寂しくなくなり、次々に例会・イベントを楽しみにしております。

私は縁を信じる人間で、特にロータリアンとの縁(つながり)を、大事にしております。さらに、支えていただいている皆さんに、心から感謝いたします。将来にも、皆さんのように社会に還元できるよう、今から頑張っていきたいと強く思っております。

これからも宜しくお願い致します。

2018-2019年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 嵯峨義輝
地区ガバナー指名委員長 細川好弘

2018-2019年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

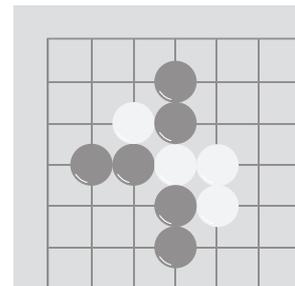
[参考] 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

今秋の「第14回ロータリー全国囲碁大会」のご案内

囲碁好きのロータリアンで結成するロータリー囲碁同好会(GPFR)日本支部は、以下の要領で「第14回ロータリー全国囲碁大会」を開催いたします。碁盤を通じて交流を図る会ですので、クラブ内の皆様に大会参加を呼びかけて頂きますようご案内をお願い申し上げます。

大会は上級者(五段以上)、中級者(三段～四段)、初級者(二段以下)の3クラス制の早碁戦です。個人戦のほか、2人の成績によるクラブ対抗戦も行います。初心者、会員ご家族の参加も歓迎いたします。また、GPFRは台湾、韓国、米国にも支部を持つRI認証の国際親睦グループ(国際奉仕活動)で、毎年春に囲碁国際大会も開催しています。本年5月16日(土)に開催しました国際囲碁大会の詳細は「ロータリーの友」8月号に掲載されています。GPFR活動については下記ホームページをご覧ください。大会参加はメイクアップ(国際奉仕活動)になります。

- 日時** 2015年10月3日(土)
9:30 登録受付 10:00 開会式 16:00 表彰式
- 会場** 日本棋院会館本院(東京・市ヶ谷)1階対局場
- 主催** ロータリー囲碁同好会日本支部
- 共催** 第2580、2750両地区(都内2地区)
- 登録料** 7,000円(昼食代、賞品等含む)
- ホスト** 東京ロータリークラブ



大会参加のお申し込みは、氏名、地区、クラブ名、年齢(女性は不要)、級段位を明記して、所属ロータリークラブを通じて、下記のGPFR日本支部宛にFAX(03-3452-1652)でご連絡下さい。参加要領等を返信いたします。申し込み締め切り日は9月18日(金)です。

お問い合わせ等もFAXにてお願い致します。

大会幹事 太田清文(東京RC)

日本支部 104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1階
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内
名誉会長 田中 毅(2680地区PDG)
会長 石井 良昌(2680地区PDG)
日本支部長 新藤 信之(2750地区PDG)

GPFR日本支部へのご連絡は右記の専用FAXへお願いします▶ FAX: 03-3452-1652 HP: <http://www.gpfr.jp>

ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。



野生型ポリオ症例数

2015年8月12日現在

ポリオ	国	2015年8月12日	2014年同時期	2014年度合計	麻痺が発生した最後の年月日
常在国	パキスタン	29	108	306	2015年6月30日
	アフガニスタン	7	8	28	2015年7月17日
	ナイジェリア	0	5	6	2014年7月24日
常在国 以外	ソマリア	0	4	5	2014年8月11日
	赤道ギニア	0	4	5	2014年5月3日
	イラク	0	2	2	2014年4月7日
	カメルーン	0	5	5	2014年7月9日
	シリア・アラブ共和国	0	1	1	2014年1月21日
	エチオピア	0	1	1	2014年1月5日
世界合計		36	138	359	

【ナイジェリア ポリオのない1年】

ナイジェリアでは昨年7月24日以来1年間、野生ポリオウイルスによる症例が1件も報告されておらず、この状態が9月まで続けば、世界保健機構（WHO）によってポリオ常在国から外され、残りパキスタンとアフガニスタンの2ヶ国になります。但し同国が完全に「ポリオフリー」と認定されるには、その後2年間ポリオ無発生を保つ必要があります。さらに8月11日には、アフリカ最後のポリオ感染国ソマリアの発症から1年ががたちます。アフリカ大陸全体として「ポリオフリー」が動き始めます。

*詳しい内容は、RI2510地区ホームページ内のポリオプラス委員会ページに記載されています。

*地区ホームページには随時ポリオの最新情報を掲載しておりますのでご覧ください。

【私たちが会員が寄付した資金はこの様に使われています II】

GPEI(世界ポリオ撲滅推進活動)は、ポリオの予防には定期的に予防接種を高レベル(80%以上)で確保する必要性があり、発展途上国に経口ポリオワクチン接種を推奨しています。

大規模な予防接種キャンペーンとして、全国予防接種日、又は補足の予防接種活動を実施しています。更に何らかの理由で国境を横断する子供たちに対応する為、隣国同士が同時期に全国予防接種日を設定し、隣国がアクセスしにくい場所などに国境を越え隣国に入りワクチン接種を行います。監視活動として、15歳以下の子供の急性の麻痺が発生していないか、保険スタッフが定期的に医療機関を訪問しています。ポリオの発症かを判断するため、糞便標本をテストします。

ポリオウイルスを特定し、ウイルスの正確な遺伝子構造を決定し、正確な地理上の特定をすることにより、ポリオウイルスの広がり防ぎます。また下水のサンプル調査を行い体系的な環境の監視を行います。またターゲットを絞ったドアツードアの予防接種ポリオ掃討活動を実施しています。

文庫通信



(335号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

貴重な古文献

【下記申込先：ロータリー文庫】

「YOKOHAMA」 PAUL P. HARRIS 1935 11p (PEREGRINATIONS volⅡ)

「今は昔」 米山梅吉 1923 4p (提督ベルリ)

「八十五年前の日本」 米山梅吉 1938 52p (看雲録)

「かたみの文-伊豆山寺の一夏」 米山東一郎 米山梅吉編 1921 18p (東一郎)

「八十七日(米山梅吉歌集)」 米山梅吉 1922 92p

「何故ニ 漢字ワ ヨクナイカ」 星野行則 1924 12p (國字問題-漢字ヨリノ解放)

「感謝観念」 星野行則 1943 6p (私ノ心理生活)

「ガバナー告辞」 星野行則 大阪R.C. 1952 6p (国際ロータリー第60区大会記録)

「ロータリー大會に際して(ラチオを通じてロータリアンの講演放送)」 村田省蔵 1934 8p (ロータリー第七十区第六年次大会記録)

「追憶談」 下村海南 津島純平編纂 1950 6p (平生鈞三郎追憶記)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

地区カレンダー (9月・10月)

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1(火)	～2(水) 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(栗山RC)
2(水)	公式訪問(余市RC)
3(木)	2016-17地区研修リーダーセミナー(東京) 第13回日韓親善会議前夜祭(東京)
4(金)	第13回日韓親善会議(東京) 地区親睦野球大会(小樽)
5(土)	ローターアクト第43回地区協議会(千歳)
6(日)	米山奨学生研修旅行予定
7(月)	
8(火)	公式訪問(小樽RC)
9(水)	公式訪問(倶知安RC)
10(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
11(金)	
12(土)	公式訪問(札幌手稲RC)
13(日)	
14(月)	公式訪問(札幌南RC)
15(火)	公式訪問(札幌清田RC)
16(水)	公式訪問(札幌モーニングRC、札幌真駒内RC)
17(木)	公式訪問(札幌東RC)
18(金)	公式訪問(札幌幌南RC)
19(土)	小樽銭函RC創立40周年記念式典(小樽)
20(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
21(月)	敬老の日
22(火)	国民の休日
23(水)	秋分の日
24(木)	公式訪問(千歳RC)
25(金)	～26(土) 全国インターアクト研究会・ 全国委員長会議(京都) 公式訪問(小樽南RC)
26(土)	
27(日)	
28(月)	
29(火)	公式訪問(北広島RC)
30(水)	

10月 経済と地域社会の発展月間 米山月間	
1(木)	
2(金)	地区大会記念ゴルフ大会(岩見沢)
3(土)	地区大会(岩見沢)
4(日)	地区大会(岩見沢)
5(月)	
6(火)	公式訪問(札幌はまなすRC、札幌大通公園RC)
7(水)	公式訪問(新札幌RC)
8(木)	公式訪問(江別RC)
9(金)	
10(土)	当別RC創立40周年記念式典(当別)
11(日)	
12(月)	体育の日
13(火)	公式訪問(赤平RC)
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	
18(日)	
19(月)	公式訪問(三石RC)
20(火)	公式訪問(浦河RC、様似RC)
21(水)	公式訪問(静内RC)
22(木)	公式訪問(えりもRC)
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	公式訪問(札幌北RC)
27(火)	
28(水)	公式訪問(白老RC)
29(木)	公式訪問(札幌西北RC)
30(金)	
31(土)	赤平ローターアクトクラブ 創立40周年記念式典(赤平)

2015年9月のロータリーレート 1ドル 124円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.7.31	増 減	内女性	
1	深 川	4	34	35	1	2	85.40
	羽 幌	4	43	45	2	2	75.56
	妹背牛	4	11	11	0	0	75.00
	留 萌	5	38	38	0	3	75.42
	小 計		126	129	3	7	77.85
2	赤 平	4	26	26	0	0	81.70
	芦 別	4	37	37	0	2	79.25
	砂 川	5	37	37	0	0	93.51
	滝 川	5	78	81	3	4	79.00
	小 計		178	181	3	6	83.37
3	美 唄	4	32	32	0	0	85.40
	江 別	5	31	31	0	1	88.88
	江別西	3	26	26	0	3	82.10
	岩見沢	5	73	74	1	0	90.74
	岩見沢東	4	22	22	0	3	77.35
	栗 沢	5	22	22	0	1	93.60
	栗 山	4	22	25	3	5	88.54
	当 別	4	27	28	1	1	80.36
	小 計		255	260	5	14	85.87
4	札 幌	5	117	121	4	0	97.85
	札幌はまなす	4	16	16	0	2	78.13
	札 幌 北	3	34	34	0	3	92.93
	札幌モーニング	5	39	39	0	0	77.07
	札 幌 西	4	51	51	0	8	81.73
	札幌西北	4	32	32	0	3	84.60
	札幌手稲	4	37	39	2	4	89.26
	小 計		326	332	6	20	85.94
5	札 幌 東	5	122	122	0	0	97.94
	札幌清田	5	16	16	0	4	100.00
	札幌幌南	5	70	71	1	13	100.00
	札幌真駒内	5	24	24	0	4	100.00
	札 幌 南	3	79	80	1	0	98.33
	札幌大通公園	4	13	13	0	1	63.46
	新 札 幌	4	24	24	0	3	86.73
	小 計		348	350	2	25	92.35
6	岩 内	4	19	19	0	1	78.22
	倶知安	5	39	39	0	5	77.40
	小 樽	4	74	74	0	0	83.33
	小樽南	5	73	73	0	2	92.39
	小樽銭函	5	19	19	0	1	81.00
	蘭 越	3	10	10	0	0	100.00
	余 市	5	48	48	0	5	81.00
	小 計		282	282	0	14	84.76

7 月 出 席 率 ・ 会 員 増 減 数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,569人(132人)
	増加会員数	43人
	当月平均出席率	83.38%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.7.31	増 減	内女性	
7	千 歳	5	54	58	4	4	91.60
	千歳セントラル	4	38	38	0	4	76.32
	恵 庭	4	46	50	4	2	89.92
	北 広 島	4	17	18	1	1	82.35
	長 沼	3	19	19	0	3	77.77
	由 仁	4	8	8	0	0	80.00
小 計		182	191	9	14	82.99	
8	えりも	4	18	18	0	1	98.61
	三 石	3	13	13	0	1	69.40
	様 似	4	21	21	0	1	71.84
	静 内	5	64	67	3	1	90.14
	浦 河	4	22	23	1	0	91.30
	小 計		138	142	4	4	84.26
	伊 達	4	55	56	1	0	85.95
9	室 蘭	4	30	33	3	0	88.28
	室蘭東	5	34	35	1	0	81.10
	室蘭北	4	40	39	-1	3	72.44
	登 別	5	32	32	0	1	84.34
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0	70.30
	小 計		200	204	4	4	80.40
10	函 館	5	82	84	2	1	79.35
	函館亀田	3	41	41	0	4	93.16
	森	4	33	35	2	0	80.00
	七 飯	4	17	17	0	0	68.90
	長 万 部	3	8	8	0	0	62.50
	函館セントラル	4	22	22	0	2	74.68
	小 計		203	207	4	7	76.43
11	江 差	4	12	12	0	1	60.00
	函館五稜郭	4	51	51	0	0	88.56
	函 館 東	4	47	48	1	5	76.81
	函 館 北	5	21	21	0	0	93.00
	北 斗	5	13	14	1	0	68.50
	松 前	2	4	4	0	0	75.00
	小 計		148	150	2	6	76.98
12	白 老	5	33	33	0	2	87.30
	苦小牧	4	51	52	1	2	75.62
	苦小牧東	4	27	27	0	6	86.11
	苦小牧北	4	29	29	0	1	92.19
	小 計		140	141	1	11	85.31
合 計		2,526	2,569	43	132	83.38	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数14名(内女性会員8名)を含む

第6グループ各クラブ紹介

第6グループは、海、山と、自然環境に恵まれた後志管内の蘭越RC、倶知安RC、岩内RC、余市RC、小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RCの7クラブで構成されています。

歴史的街並みと運河の街 小樽市にある3 RCと、米、野菜、果樹そして日本海の高産物の豊富な産地である後志の郡部の4 RCが、それぞれの地域特性に対応したロータリー活動に励んでいます。

クラブ規模で言うと、70名を超える小樽RC、小樽南RCの2クラブ、40名前後中規模の余市RC、倶知安RCの2クラブ、そして10名クラス規模の蘭越RC、岩内RC、小樽銭函RCの3クラブとクラブのスケールは分かれています。7クラブ共に地域に根ざしたロータリー活動を積み重ねております。

今年も、2510地区そして第6グループの年度目標である「会員増強、維持率向上」をテーマに、第6グループ会長・幹事会、小樽市内3 RC合同例会、郡部4 RC合同例会などを通じて、交流・連携をはかりながら、各クラブそれぞれが、未来のロータリークラブ作りに向かって、充実したクラブ活動に励んでいきたいと思っております。



表紙の解説

■ 第49回『おたる潮まつり ねりこみ』参加

7月25日(土)、小樽最大の夏祭り「おたる潮まつり」のメインイベントである、「潮ねりこみ」に昨年に引き続き、「ロータリーをもっと知ってもらおうこと」と「会員の親睦と和」を目的に、小樽・小樽南・小樽銭函ロータリークラブとの3クラブ合同でロータリークラブ梯団として参加致しました。

今年の「潮ねりこみ」は89梯団約7千人の市民参加者が、市内のスタート地点から港の会場ステージまでの18キロのメインストリートに約90分前後かけて踊りきりました。

当日は、公式訪問中の大変忙しい中、嵯峨義輝ガバナールーにご参加を頂き、また地区より9名の皆様にもご参加頂き小樽市内の3ロータリークラブの会員・家族とともに総勢85名の梯団で、元気に楽しくそして熱意のこもった踊りで大変な盛り上がりで踊り通すことができました。

嵯峨義輝ガバナールーをはじめ参加されたメンバーの皆様に心から感謝申し上げます。